

第2期吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度実績

基本目標 1. 「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

数値目標	住みやすい町と感じている住民の割合	基準値	83.2%(平成30年度)
		目標値	85.0%(令和6年度)

(1)豊かな住環境の整備と安心・安全、便利なまちづくり

KPI	公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数			未達成の場合、その理由
目標 R6	2種類 (達成目標)	現況 H30	1種類	バスは他市町村との乗合のため町独自での実証実験は難しい。事業統合によりタクシー運賃等助成事業が順調に推移しているため、まずは事業の推進を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	1種類		50%	
R3	-種類			
R4	-種類			
R5	-種類			
R6	-種類			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	消防団員の充足率			未達成の場合、その理由
目標 R6	90 % (達成目標)	現況 H30	79%	感染症拡大防止の観点から、戸別訪問など消防団員の勧誘活動がほとんどできなかったため。
年度	実績値		達成率	
R2	78.9 %		88%	
R3	- %			
R4	- %			
R5	- %			
R6	- %			
担当部署	総務課 安全安心室			
KPI	マイナンバーカードを利用した諸政策の実施			未達成の場合、その理由
目標 R6	5件 (達成目標)	現況 H30	未実施	1件の内容は、特別定額給付金。なお、実績値には表れないが、令和3年度にコンビニ交付を開始するための準備を進めた。
年度	実績値		達成率	
R2	1件		20%	
R3	-件			
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	企画財政課 企画室			

①計画的な土地利用による良好な住環境の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
身近な公園の整備	子育て世帯を中心に、身近な憩いの場を求める声が多いことから、計画的な公園等の整備を進めていきます。	【城山防災公園整備事業】(都市建設室) 公園内階段のクラックについて原因調査を実施した。 【午王頭川親水公園整備事業】(都市建設室) 補助金を受けて行える事業について調査し、事業の実現性について検討した。 【八幡山運動公園整備事業】(生涯学習室) 特になし。 【自治会広場の整備】(協働環境室) 相談も含め、実績はなかった。
土地利用の規制・誘導	市街地の「まとまり」をつくり、全ての世代が暮らしやすいまちを目指すため、土地利用の規制・誘導について推進します。	【都市計画マスタープランの見直し・改定】(都市建設室) 見直しについて検討を行なった。 【土地利用規制手法の検討準備】(都市建設室) アクションプログラムの見直しについて検討を行なった。
緑化推進事業	花と緑の美しいまちづくりを推進していくために、住民の緑化思想の普及啓発を図るとともに、住民参加による都市緑化の取組を推進します。	【公園緑地等整備事業】(都市建設室) 住民参加型の都市公園施設設け設置等について、調査・検討を行なった。 【緑の少年団育成事業】(農業振興室) 明治小学校5年生を対象にプランターを作成するなど、緑化思想の高揚を十分に図ることができた。

②公共交通・道路網の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
公共交通利便性向上事業	恵まれた都市環境をさらに発展させるとともに、公共交通空白地域・不便地域の解消と町民のスムーズな移動の確保を目指し、タクシー運賃等助成事業の更なる拡充や巡回バスなどの運行により、公共交通の利便性の向上を図ります。	【前橋駅上野田線運行ダイヤ見直し及びルート変更協議】(企画室) 吉岡線の運行ルートについて、群馬総社駅への乗り入れを継続しつつ、ルートの変更が可能か検討を進めた。
		【タクシー運賃等助成事業の実施】(企画室) 相乗り推奨タクシー事業と福祉タクシー助成事業を統合した結果、利用者が大幅に増加した。 利用枚数:2,292枚 申請者数:206人 助成額:1,146,000円
		【巡回バス運行事業】(スクールバスの活用事業も含む)(企画室) 巡回バスの導入に関する検討を進めた。
		【通学バスの運行】(学校教育室) 例年と同様にスクールバスの運行を行なった。 ※明治小学校の授業日に朝1便、放課後1~3便のスクールバスの運行を実施(長期休業中は原則運休)
政策連携による道路整備の推進	近隣自治体との連携道路の整備促進や、国や県に対する要望活動を通じ更なる道路網の充実を図ります。	【渋川連携道路】(都市建設室) 用地測量業務等を実施した。
安心して通行(歩行)できる環境整備	通学路を中心に、児童・生徒が安心して通行できるよう、関係機関との協議を進めます。 緊急輸送道路や通学路を対象として、地震によるブロック塀等の倒壊等の被害を防止し、道路利用者の安全を確保します。	【ブロック塀除却補助事業】(都市建設室) 2件の申請があり、補助を行なった。
		【通学路の危険箇所の把握と解消】(用地管理室) 交差点の人だまり部分(2カ所)の拡充を行なった。
		【県道歩道整備の推進】(用地管理室) 県道前橋伊香保線の歩道整備を行なった。
		【橋梁長寿命化計画の策定及び橋梁定期点検の実施】(用地管理室) 橋梁長寿命化計画を策定した。

③安心・安全なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
防災・減災に向けた取組の更なる強化	自主防災組織による活動を支援するとともに、講習会などを実施して防災知識の習得や普及を図ります。また、新たに地域防災活動のリーダーとなる防災士等の育成を推進します。 災害等に迅速に対応するため、老朽化している防災無線のデジタル化と戸別受信機の設置を進め、防災機能の充実を図ります。 消防団員の確保をするため、町や自治会の行事等で団員募集チラシを配布・回覧し入団希望者を募るとともに、町内の企業や店舗に対し従業員の入団を働きかけるなどし、消防団の充実強化を図ります。 防災、減災に対するアンケートによる住民一人ひとりの意識度を調査するとともに、各家庭での防災備蓄、減災対策の啓発を行い、「自助」に対する意識強化を図ります。	【講演会の開催】(安全安心室) 3つの自治会の防災訓練等に、町防災専門員や町職員が講師として参加し、住民の防災意識の向上を図った。
		【防災無線放送施設整備事業】(安全安心室) 以下の工事を行なった。 ・R1デジタル化設置工事(継続) ・R2デジタル化設置工事(~R4)
空き家対策事業	周辺の生活環境に悪影響を与えることが懸念される「問題のある空き家」について実態を調査し、必要な措置をとっていきます。	【空き家実態調査】(都市建設室) 平成25年度に空家等調査を行い、平成31年3月に「吉岡町空家等対策計画」を策定した、これを見直し、再調査の検討を行なった。
住宅耐震対策事業	耐震診断により、改修が必要とされた住宅の改修費用の一部助成制度を推進します。	【耐震診断者派遣事業】(都市建設室) 申請は0件であった。
		【住宅耐震対策事業】(都市建設室) 老朽危険家屋除却支援事業(補助金)を実施した。申請は0件であった。
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施します。	【見守りパトロール事業】(安全安心室) 公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町内小学校の下课時間帯に、町が所有する防犯パトロール車でパトロールを実施した。
放課後児童安全対策事業(防犯カメラ)	児童の安全の確保および犯罪防止を目的として、児童が集まる場所等に防犯カメラの設置を進めます。	【防犯カメラ設置事業】(安全安心室) 児童の安全確保及び犯罪防止を目的に、防犯カメラを設置した。

④利便性の高いまちづくり(新しい時代の流れを強化)

主な施策・事業	概要	取組実績
新しい技術の導入推進	行政手続における添付書類の簡略化や、各種手続における行政機関への来庁を不要とする電子申請等への取組、国や県および民間企業などの協働による自動運転(無人)バスの実証実験等の取組を推進します(Society5.0の活用・推進)。	【証明書等コンビニ交付サービス】(企画室) 各種工程試験を実施し、令和3年5月19日の開始に向けて準備を進めた。

⑤未来志向の持続可能なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
行財政運営の効率化	限られた資源の中で、先進的な技術を取り入れることで、人的・財政的にも持続可能なサービスを維持していきます。	【自治体DX推進計画の推進】(企画室) マイナポイント事業の周知も含め、マイナンバーカードの普及啓発を図った。

(2)住民が共に進めるまちづくり

KPI	自治会により地域づくり振興事業補助金を活用した事業の参加者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	8,000 人 (達成目標)	現況 H30	7,029人	コロナ禍により、各自治会で補助金を活用できる事業がほとんど行えなかったことが主な理由となる。
年度	実績値		達成率	
R2	410 人		5%	
R3	- 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	住民課 協働環境室			

主な施策・事業	概要	取組実績
自治会地域づくり振興事業	自治会の自主的な取組による地域に根ざす活動を支援し、地域の特色を活かした魅力あふれる施設づくりによるまちづくりを推進します。 地域活動の先進事例紹介などの講演会等を開催し、自治会活動を支援します。	【自治会地域づくり振興事業】(協働環境室) 補助金等審査委員会からの答申及び社会情勢の変化を鑑み、自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」と統合し、令和3年度から実施することとした。 【自治会振興助成事業】(協働環境室) 補助金等審査委員会からの答申及び社会情勢の変化を鑑み、自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会地域づくり振興事業」と統合し、令和3年度から実施することとなった。
ごみ出し支援ボランティア	高齢者や障害者の一人暮らし世帯等で支援が必要な方が安心して暮らせるように、地域や団体がごみ出し等を代わりに行うなど、取組を推進します。	【ごみ出し支援ボランティア事業】(協働環境室) 実績は把握できていないが、自治会には取り組みについて働きかけを行った。
地域づくり団体への支援強化	組織化に至っていない地域づくり団体に対し、県地域づくり協議会との連携の中で、ノウハウなどの提供をしながら、サポートを行っていきます。 現在町内で活動されている団体との繋がりを更に密にし、補助金等も含め支援します。 県地域づくり協議会との関わりをさらに深め、県内自治体および加盟団体との相互連携の中で活動内容の充実を図ります。	【未組織化の地域づくり団体のサポート、及び既存団体の活動強化】(協働環境室) 感染症拡大防止の観点から協議会の会議等が実施されず、また地域づくり団体の活動も制限される中、サポート等も行えなかった。

基本目標 2. 一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

数値目標	子育てしやすいと感じている保護者の割合	基準値	33.1%(平成30年度)
		目標値	35.0%(令和6年度)
	健康と感じている高齢者の割合 (要介護認定者を除く)	基準値	68.8%(令和元年度)
		目標値	72.0%(令和6年度)

(1)子育てしやすいまちづくり

KPI	子育て相談会利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	200人 (達成目標)	現況 H30	152人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	347人		174%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI	学童クラブの定員			未達成の場合、その理由
目標 R6	405人 (達成目標)	現況 H30	365人	既存施設の定員不足のため。なお、駒寄第4学童クラブの開設により、定員が20人増加している。
年度	実績値		達成率	
R2	385人		95%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	健康子育て課 子育て支援室			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
産前・産後サポート事業	家事や育児を手伝ってくれる家族がいない、産前1か月から産後1年までの妊産婦を対象に、家事や育児の支援を実施します。	【産前・産後サポート事業】(健康づくり室) 出生届や転入者にチラシを配布した。乳幼児健診で産前・産後サポートを必要としている人に、紹介を行なった。
発達障害の早期発見のための各種健診の充実	自閉症やADHD(注意欠陥・多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図るため、「こどものこころの発達健診」「年中児こころの成長アンケート」「発達支援教室」を実施します。	【こどものこころの発達健診】(健康づくり室) 1歳6ヶ月児健診にて対象となった人に対して「こころの発達健診」の実施した。支援が必要な子どもに対し、フォローを行なった。 【年中児こころの成長アンケート】(健康づくり室) 年4回、年中児に対し、アンケートを配布した。支援が必要な子どもに対し、発達支援教室や療育への橋渡しを行なった。 【発達支援教室】(健康づくり室) 1回目の緊急事態宣言が発令されたときは、教室を休止し、心理士が個別に相談を行った。宣言解除後は、教室を再開し、発達を促す遊びや個別相談等を実施した。
育児相談事業	乳幼児検診の事後相談の充実と、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実を図ることにより、健診後の要観察児童の電話相談や訪問相談等のフォローを充実させて、育児不安やストレスの軽減・解消を図ります。	【育児相談の充実事業】(健康づくり室) 心理士・作業療法士・言語聴覚士・助産師・保健師による育児相談を実施した。
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進	町民や企業に対しての広報・ホームページ等を通じたPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図り、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室) 町民や企業に対してチラシを窓口を設置し、町広報紙・町ホームページに掲載した。
赤ちゃんの駅(情報マップ)の活用支援	外出中のおむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定します。また、赤ちゃんの駅がどこにあるのか一目で分かるよう、地図等による情報提供を充実していきます。	【赤ちゃんの駅情報提供】(子育て支援室) 渋川市・榛東村との協議により増刷は行わず、既存のマップの配布のみ行なった。 【赤ちゃんの駅指定事業】(子育て支援室) 新規登録施設なし。

②子育ての経済的負担の軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
不妊・不育対策支援	特定不妊治療への助成に加えて、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症など各種不妊治療に対し一部助成をすることにより、子どもをもちたいと考えている夫婦が安心して治療に望める環境を引き続き整えていきます。	【不妊治療費助成事業】(健康づくり室) 特定不妊治療、一般不妊治療、男性不妊治療、不育治療への助成を行なった。
学校給食費における負担額軽減事業	引き続き、町内の児童生徒の学校給食費の一部補助を実施し、子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減を図ります。	【学校給食費補助事業】(教育総務室) 例年同様、一人当たり年10,450円を補助している。
高校生等の通学支援	公共交通機関を利用して遠距離通学する高校生等をもつ家庭の経済的負担軽減を図ります。	【高校生等公共交通通学支援事業】(企画室) 引き続き実施。町広報紙等で周知を行なった。 申請件数:276件 申請者数:99人 補助額:758,000円

③働きながら安心して子育てできる環境整備

主な施策・事業	概要	取組実績
学童クラブの充実・整備	年々増加する学童クラブの利用希望や要望に対応できるように、環境整備を進めていきます。	【駒寄第4学童クラブ整備事業】(子育て支援室) 駒寄幼稚園(認定こども園)内に駒寄第4学童クラブを設置するための施設整備を実施した。 【新明治第2学童クラブ新設事業】(子育て支援室) 用地買収及び建築設計を実施した。

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

KPI	ALT(外国語指導助手)の人数 (日本人を含む)			未達成の場合、その理由
目標 R6	4人 (達成目標)	現況 H30	3人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	4人		100%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			
KPI	マイタウンティーチャーターの人数 (ALTを含まない)			未達成の場合、その理由
目標 R6	17人 (達成目標)	現況 H30	14人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	17人		100%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			

①就学前児童と保護者の交流・成長支援

主な施策・事業	概要	取組実績
家庭保育児支援事業	保育園等に通園していない保護者の育児相談や子育てサークルへの指導・援助、一時預かり事業や児童館および子育て支援センターの充実を図ります。	【地域子育て支援拠点事業】(子育て支援室) 延べ利用者人数:1,706人 延べ人数は、年々減少傾向にある。低年齢からの保育園等の利用が増えていることが一因と言える。 各種行事とも好評で、英語の行事は、留学経験のある講師が行っているため、特に好評である。また、屋外に新しい遊具を設置したため、親子共々好評である。
保育士確保事業	増加する保育園等への入園希望世帯のニーズに応えられるように、保育士の確保を進めていきます。	【保育士確保事業】(子育て支援室) 町内保育所等に対し、補助金を交付した。 延べ該当人数:121人 交付金額:6,050,000円

②児童・生徒の教育環境等の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
ALT、マイタウンティーチャー等の拡充	小中学校におけるALTの拡充を図り、語学学習の環境の充実を推進します。 小中学校におけるマイタウンティーチャー等の拡充を図り、よりきめ細かな学習への支援を行います。	【ALTの活用・増員】(学校教育室) 小学校各校には日本人ALTに加え、外国人ALTも増員(各校1名ずつ)され、外国語学習環境を大幅に高めた。 【マイタウンティーチャーの活用・増員(学習補助員を含む)】(学校教育室) 各校に、マイタウンティーチャーや学習補助員を計画的に配置したことで、きめ細かな学習支援だけでなく、コロナ禍における休業等の中、学力の保障や校内の消毒作業等にも活躍いただいた。
学校・家庭・地域の連携推進事業	学校運営協議会の中で、学校・家庭・地域の連携のあり方について考えていきます。 地域住民による地域学習やスポーツ指導、登下校時の見守り等のボランティア活動を推進し、地域の教育力の向上を図っていきます。	【学校支援センターによる地域人材の活用】(学校教育室) コロナ禍において、人の交流が難しい状況のため、ボランティア活動は互いの安全性を考慮し、限定的なものとなった。
吉岡町・大樹町子ども交流事業	次世代を担う町内の小学生を大自然あふれる友好都市北海道大樹町に派遣し、自然体験活動・社会体験活動・宿泊体験活動を通じて「生きる力」を育み青少年の健全育成を図ります。 異なる環境や生活・文化を学ぶことにより視野を広げ、学校・地域社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成していきます。	【吉岡町・大樹町子ども交流事業】(生涯学習室) 感染症拡大防止の観点から中止とした。

③子どもの可能性を広げるための学習支援

主な施策・事業	概要	取組実績
「プロフェッショナル」による出前講座の開催	スポーツや芸術分野等で活躍する「プロフェッショナル」の方に職業紹介や人生体験等を語ってもらうことにより、こころ豊かな子どもの成長を促します。	【講座開催に向けた小中学校との調整】(学校教育室) コロナ禍において、人の交流が難しい状況のため、出前授業等については自粛した。
ICT環境の充実	文部科学省のGIGAスクール構想に基づいた超高速ネットワークや児童生徒用端末等のICT環境の整備を行い、学習者用端末を日々の学習用具の一つとして活用する中で、児童生徒に国際社会に通用する意識やスキルを身に付けさせるための取り組みを行います。	【パソコン教室の整備・タブレットの導入】(教育総務室) ・児童生徒一人一台のコンピュータを整備。 ・校内無線LANの整備。 ・各教室への大型モニター整備。 ・就学援助認定を受けている家庭に向けて、モバイルルーターの貸し出し。 ・学習支援ソフトの導入。 ・家庭でのWifi環境整備への補助。

(3)健康で生き生きと暮らせるまちづくり

KPI 特定健診および人間ドック受診率				未達成の場合、その理由
目標 R6	50.0 % (達成目標)	現況 H30	44.4%	感染症拡大防止の観点から、事業を縮小したため。
年度	実績値		達成率	
R2	33.2 %		66.4%	
R3	- %			
R4	- %			
R5	- %			
R6	- %			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI よしおか健康No.1プロジェクト等参加者数				未達成の場合、その理由
目標 R6	25,000 人(延) (達成目標)	現況 H30	延19,705人	感染症拡大防止の観点から、事業を縮小したため。
年度	実績値		達成率	
R2	13,028 人(延)		52%	
R3	- 人(延)			
R4	- 人(延)			
R5	- 人(延)			
R6	- 人(延)			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI 地域福祉交流拠点施設利用者数				未達成の場合、その理由
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	1,802人	感染症拡大防止の観点から、4～6月、1～2月の5か月間を休館とした。このことから、施設の貸館やこれまで貸館により行なってきた事業も中止せざるを得ない状況であったため。
年度	実績値		達成率	
R2	928 人		31%	
R3	- 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	介護福祉課 介護高齢室			

①地域ぐるみでの健康づくり施策の推進

主な施策・事業	概要	取組実績
健康活動の推進事業	一日の運動量を活動量計などで確認することにより、町民の健康意識の向上を図ります。	【健康増進事業】(健康づくり室) 感染症拡大防止の観点から、集団での事業は中止した。運動DVDを作成し、地区の集会所を巡回し運動教室を実施した。
総合検診の充実	総合検診として、特定健診、がん検診、わかば健診を同日に実施し、受診率を高め、町民の健康管理および病気の早期発見につなげることにより、町民の健康づくりを支援します。	【総合検診の充実】(健康づくり室) 胃内視鏡検診は中止したが、他の健診は予約制で実施した。
介護予防・生活支援サービス事業の推進	支援を必要としている高齢者を対象に、生活機能の低下に係る早期発見・早期対応を行う介護予防・生活支援サービス事業を提供することにより、要介護状態とならないように支援をしていきます。	【介護予防・生活支援サービス事業の実施】(介護高齢室) 通常の介護保険サービスと同様に、介護保険サービス事業所によるサービスを提供した。
学習機会の充実	教養講座をはじめとする様々な学習機会を提供することにより、町民の生きがいづくりを支援します。	【よしおか手作り講座】(生涯学習室) 以下のとおりであった。 1.よしおか手作り講座 ・前期(4～9月)募集・開催中止 ・後期(10～3月)募集9講座中5講座開催 2.教養講座 ・ズバット健康体操教室(通年～3月)開催延期 3.子どもときめき教室 ・わくわくあそび(4月～3月幼児対象)開催中止 4.おもしろ科学教室 ・群馬県生涯学習センターと連携(6/13、8/1)開催中止 【教養講座】(生涯学習室) 以下のとおりであった。 1.よしおか手作り講座 ・前期(4～9月)募集・開催中止 ・後期(10～3月)募集9講座中5講座開催 2.教養講座 ・ズバット健康体操教室(通年～3月)開催延期

②誰もが活躍できる地域社会の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
地域福祉交流拠点施設の交流事業	吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、元気になるカフェをはじめとした様々な事業を実施します。	【「元気になるカフェ」の開催】(介護高齢室) コロナ禍という状況から警戒度に合わせ事業中止も余儀なくされたが、新たな事業も実施し、社会福祉協議会主導の下、定期的に事業を開催できた。

基本目標 3. 地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

数値目標	就学未満児の母親が働いている割合 (育休時、パート等を含む)	基準値	71.8%(平成30年度)
		目標値	73.5%(令和6年度)
	高齢者の就業率(要介護認定者を除く)	基準値	21.6%(令和元年度)
		目標値	25.0%(令和6年度)

(1)地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

KPI	道の駅年間利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	440,000 人 (達成目標)	現況 H30	419,514人	感染症拡大防止の観点から閉館実施施設があったことや、感染症を理由にした来訪者減少があげられる。
年度	実績値		達成率	
R2	250,458 人		57%	
R3	- 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	ホーム(総)ページ年間閲覧数			未達成の場合、その理由
目標 R6	450,000 件 (達成目標)	現況 H30	406,285件	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	887,129 件		197%	
R3	- 件			
R4	- 件			
R5	- 件			
R6	- 件			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	町公式SNSのフォロワー数(合計)			未達成の場合、その理由
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	未実施	町公式SNSの運営は検討中のため。
年度	実績値		達成率	
R2	未実施 人			
R3	- 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	文化財センター利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1,500 人 (達成目標)	現況 H30	1,080人	感染症拡大防止の観点から、講座等事業が実施できなかった。また、コロナ禍での外出を控える動きも影響したと思われる。
年度	実績値		達成率	
R2	1,113 人		74%	
R3	- 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習室			

①地域資源の発掘・活用

主な施策・事業	概要	取組実績
複合施設「道の駅よしおか温泉・緑地運動公園」の利用促進	パークゴルフの全国大会の開催や「渋川～伊香保～吉岡観光トライアングル」などの広域での観光産業の育成を支援していきます。	【(仮)緑地運動公園利用促進事業】(産業振興室) 感染症拡大防止の観点から、休場等を行い対策を行った。全国規模の大会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかったが、開催した大会については感染予防対策を行い実施した。
観光ボランティアの育成・連携	野田宿や大久保宿、船尾滝などの町内の見どころを有効活用するために、よしおか再発見ウォークへのボランティアスタッフの導入を推進します。 地域の語り部を観光ボランティアとして養成するための講座やワークショップを、既存の文化団体との連携を図りながら開催します。	【よしおか再発見ウォーク】(産業振興室) 感染症拡大防止の観点から、開催しなかった。 【よしおか再発見ウォーク】(生涯学習室) 感染症拡大防止の観点から、開催しなかった。 【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(産業振興室) 観光ボランティアへの協力やボランティアの育成をイベント開催による副次的な効果として考えていたため、イベント実施ができなかったことから進捗はなし。 【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(生涯学習室) 感染症拡大防止の観点から実施できなかった。
文化財を資源とした交流エリアの形成	歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を実施し、町民の郷土愛の情勢を図るとともに、さまざまな方面にアピールをしていきます。	【企画展等の開催】(生涯学習室) 文化財センターで企画展「疫病・わざわい穢いの文化財」を開催し、町内にある疫病穢いや病気平癒を願って造られた神社や石宮について写真や由来などをパネルで紹介し、見学者にミニ茅の輪やアマビエ神人形を配布した。(実施期間: 令和2年11月1日～令和3年3月31日)
文化財資源の動画配信	ドローンなどで撮影を行い、文化財施設の紹介動画などをスマートフォンなどで気軽に見られるようにし、認知度や魅力度をさらに高めます。	【文化財資源等の動画制作・配信】(生涯学習室) 町指定名勝「船尾滝」の映像をドローンや手持ちカメラで撮影し、解説付きの動画(DVD)を制作した。また、Youtubeでの配信を行った。

②「吉岡の魅力」の情報発信

主な施策・事業	概要	取組実績
道の駅「よしおか温泉」情報発信強化事業	道の駅「よしおか温泉」を町の東玄関口として位置づけていることから、広域観光案内、防災および地域情報の提供施設としてさらなる整備を図るとともに、地域特産品のPRの強化を図ります。	【デジタルサイネージ設置事業】(産業振興室) 保守業務を行なうことと併せて、町の観光サイトとの連携や閲覧できる情報の紙媒体化、その媒体の有償提供化を検討した。 【Wi-Fi機器設置事業】(産業振興室) 道の駅よしおか温泉の魅力向上を引き続き目指し保守業務を行なった。 【PRイベント】(産業振興室) 開催を予定していたイベントは実行委員会(外部)が中止判断をしたため開催されなかった。
まちのイメージアップと観光・行政情報発信の充実強化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再認識できるような事業に取り組むとともに、ホームページのリニューアル等により「吉岡に行ってみよう」と思われるような情報発信を進めていきます。	【よしおか再発見ウォーク(再掲)】(産業振興室) 感染症拡大防止の観点から、開催しなかった。 【ガイドマップの更新】(企画室) 在庫があるため改訂、増刷は行なわなかった。 【ホームページの更新・リニューアル】(企画室) 新型コロナウイルス関係など、いち早く確実な情報を発信した。また、ページの整理を行なった。 【暮らしのガイドブックの発行】(企画室) ガイドブックを協働して発行する民間事業者と、発行部数で折り合いがつかず、持ち越しとした。 【広報よしおかの発行】(企画室) 引き続き発行。(令和3年度分から指名競争入札により委託業者を決定。) 【移住・定住支援のPR】(協働環境室) 県の移住支援ポータルサイトに町長メッセージ及び移住者のコメント動画などを掲載した。また町ホームページにおいても写真に説明をつけるなどしてわかりやすくした。

(2)働きやすい環境づくり

KPI				シルバー人材センター受注件数	未達成の場合、その理由
目標 R6	1,300 件 (達成目標)	現況 H30	1,282件	新型コロナウイルス感染症拡大により、受注件数自体が減少したことに加え感染症防止の観点から受注可能な案件も減少してしまった。	
年度	実績値		達成率		
R2	1,118 件		86%		
R3	- 件				
R4	- 件				
R5	- 件				
R6	- 件				
担当部署	産業観光課 産業振興室				
KPI				無料職業紹介センター事業による就職成立者数(商工会)	未達成の場合、その理由
目標 R6	50 人 (毎年度目標)	現況 H30	46人	感染症拡大により、職を求める者が増えたのに対して求人を出す事業主が減ったため。(現状の雇用体制を維持しようとする事業主と解雇を行う事業主が目立つのが現状である。)	
年度	実績値		達成率		
R2	43 人		86%		
R3	- 人				
R4	- 人				
R5	- 人				
R6	- 人				
担当部署	産業観光課 産業振興室				

主な施策・事業	概要	取組実績
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)【再掲】	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施することにより、保護者が安心して働けるように支援します。	【見守りパトロール事業(再掲)】(安全安心室) 公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町内小学校の下校時間帯に、町が所有する防犯パトロール車でパトロールを実施した。
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進【再掲】	町民や企業に対しての広報・ホームページ等によるPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図るとともに、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業(再掲)】(産業振興室) 町民や企業に対してチラシを窓口を設置し、町広報紙・町ホームページに掲載した。
地元住民の雇用促進	町内に進出する事業者に対し、正規雇用を含めた地元住民の雇用促進などに関する働きかけを行います。	【(仮)地元住民雇用促進事業】(産業振興室) なし。 【地域特産品生産体制構築事業】(農業振興室) 新規就農者に対しサポートを実施した。

(3)新しいことにチャレンジする人を応援するまちづくり

KPI	新規就農者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	1人		100%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	産業観光課 農業振興室			
KPI	商工会新規登録事業所数			未達成の場合、その理由
目標 R6	20事業所 (毎年度目標)	現況 H30	20事業所	加入率は概ね80%となり、新規登録事業者は年々減少している状況である。
年度	実績値		達成率	
R2	13事業所		65%	
R3	-事業所			
R4	-事業所			
R5	-事業所			
R6	-事業所			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	起業件数			未達成の場合、その理由
目標 R6	3件 (毎年度目標)	現況 H30	2件	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	5件		167%	
R3	-件			
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	移住支援金を活用した移住者の人数			未達成の場合、その理由
目標 R6	5人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	県の移住支援ポータルサイト「はじめまして 暮らしまして ぐんまな日々」等を通じて、PR動画の配信等を行ったが、結果としては利用者はいなかった。 (就業支援に関しての支援金の利用者は、県内でも実績がなかったとのこと)
年度	実績値		達成率	
R2	0人		0%	
R3	-人			
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	住民課 協働環境室			
KPI	地域おこし協力隊員数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1件 (達成目標)	現況 H30	0人	地域おこし協力隊を活用する事業の洗い出し等を行えなかった。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		0%	
R3	-件			
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	住民課 協働環境室			

①就農支援・創業支援

主な施策・事業	概要	取組実績
耕作放棄地等を活用した就農支援	農業委員会が中心となり、認定農業者や農業に興味のある住民等を取り込み、地域一体となって耕作放棄地等の有効活用と就農支援に組みます。	【耕作放棄地の活用支援事業】(農業振興室) 農地の耕作状況を調査し、耕作放棄地の中間管理機構を通じた賃借を行なった。
生涯現役就労支援	シニア世代の創業支援や地域からの雇用創出により、生きがいづくりを兼ね生涯現役で働き続けられるよう支援します。	【シルバー人材センター活用事業】(産業振興室) 町民に対してシルバー人材センターを活用してもらうように町広報紙を通じたPR活動を行なった。 【シニア向け就業相談事業等の情報提供】(産業振興室) 群馬県シニア就業支援センターについてチラシを窓口に設置し、町ホームページに掲載した。
創業支援事業	産業競争力強化法に基づく「吉岡町創業支援事業計画」を策定し、地域雇用の増加を図ります。	【吉岡町創業支援事業計画の運用】(産業振興室) ・商工会と連携し、創業相談窓口事業として、商工会の経営指導員が専門的なアドバイスを行なった。 ・創業支援塾事業として群馬県商工会連合会による「ぐんま創業スクール」の案内を全戸配布した。
空き家の有効活用	空き家実態調査の結果を踏まえて、創業予定者に対する活用可能な空き家の情報提供などの事業所としての有効活用を図ります。	【空き家等対策計画の策定】(都市建設室) 平成25年度に空き家等調査を行い、平成31年3月に「吉岡町空き家等対策計画」を策定した、これを見直し、再調査の検討を行なった。また空き家バンクの利用による情報提供を実施した。 【空き家等対策計画の策定】(産業振興室) なし。

②地域活性化への取組支援

主な施策・事業	概要	取組実績
地域活性化への取組支援	地域の団体等が行うイベントや事業等に対し、補助金等も含め支援することにより、地域の更なる活性化を図ります。	【地域イベント事業助成事業】(協働環境室) コロナ禍もあり、イベントに関する補助申請はなかった。また、補助事業自体が時限要綱により実施されていたため、精査の上、延長は行なわなかった。
地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊員を委嘱し、新たな視点から地域の活性化を図ります。	【地域おこし協力隊の活用の検討・研究】(協働環境室) コロナ禍もあり、町内で地域おこし協力隊を活用できる事業等の洗い出しが行なえず、活用には至らなかった。

(4)町の魅力や企業の価値を高める活動を応援するまちづくり

KPI	新規技術開発企業の発掘			未達成の場合、その理由
目標 R6	現状維持 (毎年度目標)	現況 H30	1件	感染症の影響で情勢が不安定な中、新製品を開発する企業を発掘することが困難であった。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		-	
R3	-件		-	
R4	-件		-	
R5	-件		-	
R6	-件		-	
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
「よしかブランド」の立ち上げ	町内の農商工生産物に対し、関係諸団体と協議のうえ、一定の基準を設けた認証制度を立ち上げ、有利販売に結びつけるとともに生産者の意欲向上を図ります。	【地域ブランド化に向けた研究】(産業振興室) ブランド化の可能性がある商品の関係者へ「渋川地区物産振興協会」について周知・PRをした。 【地域ブランド化に向けた研究】(農業振興室) 「小倉乾燥芋」ブランドの存続に向け、生産者の圃場にて収量比較やキュアリング処理の実証実験を行なった。
6次産業化に対する支援	町内の農産物を活用し、付加価値を高めた販売に結びつけるための取組を支援します。	【地域特産品生産体制構築事業(再掲)】(農業振興室) 「小倉乾燥芋」ブランドの存続に向け、生産者の圃場にて収量比較やキュアリング処理の実証実験を行なった。
地域特産物の販売促進等の支援	地域資源を見直すことにより、農業生産物の加工販売や農業生産体験等を観光化するなどの新たな取組によって、地域雇用を生み出すとともに、地域の求心力を高めていきます。	【地域特産品のPR活動】(産業振興室) 渋川北群馬の農産物を周知するイベントを規模を縮小することで実施した。 【地域特産品のPR活動】(農業振興室) 取組なし。
ぐんま新技術・新製品開発推進事業	町内中小企業者が行う新製品・新商品の開発に対して、群馬県と連携しながら支援していきます。	【ぐんま新技術・新製品開発推進事業】(産業振興室) 町内中小企業者に対して、群馬県と連携して支援する事業について、町広報紙や町ホームページで周知した。